

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目	家庭 家庭総合		単位数	3
対象学年・組	2学年全クラス	教科担任	成田 小池	
教科書 ・ 副教材	教科書「家庭総合 自立・共生・創造」(東京書籍) 副教材「生活学Navi」(実教出版)			
1. 目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 生活を見つめ、考えるさせる。 ・ 2. 成人年齢引き下げによる消費生活・消費経済・家族・福祉・衣食住に関する知識と技術を総合的に習得させる。 ・ 3. 習得した知識や技術を実生活で活かし、地域社会と個人の役割を考え、解決できる能力を育成。 				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	第1章 自分らしい人生をつくる (判別学習・途中入れ替え)	よりよく生きるため、自分を見つめ、「自立・自律」について考える。また、男女が協力して地域社会と共存していく方法を具体的に学び、実践していく能力を育成する	9
	5	第5章 経済生活を営む	成人年齢引き下げによる利点・欠点を理解させる。また、多様化していく社会において、適切な判断をするための知識を身につけ、持続可能な社会を形成していく一員として「自立・自立」できる能力を育成していく。	9
	6	第7章 衣生活を作る	衣服の役割理解させる。被服材料の特徴・組成表・洗濯表示等実生活における体験を通し授業を進めていく。自らの健康と心身の発達への影響について自ら考え、選択できる知識を育成していく。実習を通し被服製作の基本的事項を理解させる。」	12
	7	第7章 衣生活を作る	実習を通し被服製作の基本を理解し、自ら作り上げることによる達成感を持たせる。	6
1学期授業時数計				36
2 学 期	9	第6章 食生活を作る (判別学習・途中入れ替え)	心身ともに健康的生活を営む上で、日常的な栄養的特徴や調理上の性質について科学的に理解し、実習を通して確認をさせる。また、諸外国との食の違いをりかいし、多様化していく社会に太陽できる脳力を育成する。	12
	10	第6章 食生活を作る	食生活による安全性について講義、実習を通して理解し、自らの実生活に活かし、環境へ配慮する必要性を確認させる。	12
	11	第3章 高齢社会を生きる	高齢社会の現状と課題を理解させる。講義、実習を通し、高齢期の心身の変化や特徴と、個人差について理解するとともに、高齢者を支援する方法を具体的な説明し今後の課題に取り組みさせる。	9
	12	第3章 高齢社会を生きる	高齢者が自立する事の意義を知り、地域社会の一員としての行動を考え、発表させる。高齢期の生き方を考える一助とする。	9
2学期授業時数計				42
3 学 期	1	第2章 子どもと共に育つ	生まれてくる命に対する責任について考えさせる。平均と個性についても理解させ、地域社会の一員としての関わり方や、育くみ方を学ぶ。	9
	2	第8章 住生活	住居の機能を知り、街並みや周囲の自然環境に調和した持続可能な住生活と住環境を創造できるよう考えさせる。	12
	3	家庭科とは、全体のまとめ	全ての単元において、最終的な確認をする。生活者として地域社会と共存していく能力の育成を、最終目標としている。	6
3学期授業時数計				27
年間授業時数合計				105
3. 評価の観点・方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や実験・実習への参加態度・作品の出来により評価する。 ・ 課題プリントの提出状況・内容、授業への取り組み(忘れ物・遅刻)により評価する ・ 必要な知識の理解度を定期考査で確認する。 ・ 被服製作の作品が未提出の場合、作品として未完成の場合は、単位の修得は認めない。 				